

[anbai\_04]

活動タイトル	江別市蒼樹大学教養講座「これだけは知っておきたい“水に流せない話”」
実施日	2015年9月3日(木) 10:00~11:30
場所	江別市野幌公民館(江別市)
対象数	約150人

内容

江別市教育委員会からの依頼で、江別市の生涯学習事業「江別市蒼樹(そうじゅ)大学」で講演を行いました。

江別市ではちょうど1年前(平成26年9月)に市内の3分の2の世帯が断水するといったことを経験して、市民の水に対する関心が高まっています。約2年前に「水」をテーマにしたお話をさせていただいたことがあり、今回改めて、水の話についてのリクエストをいただきました。

日々の生活で何気なく使っている水ですが、私たちはどのくらいの水を使っているのでしょうか? 生きるために必要な水、文化的な生活を送るために必要な水、そして食料を生産するために使われる水、私たちは毎日膨大な水を使っていることになります。私たちは今と同じように水を使い続けることができるのでしょうか?

そのようなことを考えてもらいながら、身近な水から、世界の水事情、そして仮想水(バーチャルウォーター)を紹介し、世界の人々を支えている水の大切さについて感じていただきました。

講演では多くのクイズを出題して、「クリッカー」というツールを利用して受講生の皆さんに答えてもらいながら、話を進めました。その他にも、水の量をイメージしてもらうためにバケツやペットボトルなどの実物を提示したり、写真や図の資料を多く用意してわかりやすく伝える工夫をしました。

受講者アンケートでは、「わかりやすく、面白かった」「身近な水ですが、本当に大切に使用したいと思いました。10~20年先を見て使用しなければ・・・」「世界規模で考えること、仮想水貿易に目が開かれた」など、ねらい通りの嬉しいコメントをいただきました。

実施写真等



